

「祈りの考古学」

本展は考古学資料からみた古代人の祈りをテーマに、縄文・弥生・古墳時代の祈りの道具を展示します。

縄文時代は狩猟・漁労・採集を行う採集経済の段階で、人々は自然の恵みに依拠する生活を送っていました。人々は自然界に靈感を感じ、様々な祭りを行いました。縄文時代の代表的な祭具は、女性を象った土偶と男性を象徴する石棒です。女性と男性を表す祭具を使って人々が祈ったのは、生きていくことや生命が誕生することだったと考えられます。本展では特に「遮光器土偶」として有名な東北地方の土偶を詳しくご紹介し、石棒やそれ以外の祭具もご覧頂きます。

弥生時代には大陸から水稻耕作と共に農耕の祭りが伝わり、縄文時代の祭具は姿を消します。弥生時代の代表的な祭具である銅鐸は、近畿地方を中心に共同体による農耕祭祀の重要な道具となりました。一方、矛・戈・剣といった青銅の武器は大型化し、武器形の祭具へと変容していきました。また、稀に雄鹿や人の絵を描いた土器があります。農耕社会になり、祈りは豊作を願うものに変化したようです。ここでは銅鐸・武器形祭具・絵画土器という弥生時代の祭具をひとつとお覧頂きます。

古墳時代は国家としての統治形態がととのった時代です。ヤマト王権を頂点に列島内の政治体制が確立していきました。古墳で行われた首長権継承儀礼は、政権を支える重要な役割を果たしました。古墳時代の開始とともに銅鐸や武器形祭具は見られなくなります。古墳からは首長に関わる祭具が、集落からは日常的な祭りで用いた様々な祭具が出土します。ここでは奈良県天理市の古墳時代の集落遺跡、布留遺跡から出土した祭具を中心に紹介し、古墳時代に集落で行われた祭りの一端をご覧頂きます。

番号	資料名	点数	出土地	時期
1	土偶	1	岩手県九戸郡軽米町長倉	縄文時代晩期
2	土偶	1	青森県三戸郡三戸町	縄文時代晩期
3	土偶	1	青森県三戸郡三戸町梅内字沼沢	縄文時代晩期
4	土偶	1	北海道余市郡余市町大谷地貝塚	縄文時代晩期
5	土偶	1	岩手県二戸市福岡	縄文時代晩期
6	土偶	1	出土地不詳	縄文時代晩期
7	土偶	1	青森県つがる市木造	縄文時代晩期
8	土偶	1	出土地不詳	縄文時代晩期
9	土偶	1	岩手県大船渡市	縄文時代晩期
10	土偶	1	岩手県大船渡市	縄文時代晩期
11	岩版	1	青森県三戸郡	縄文時代晩期
12	岩版	1	青森県つがる市木造亀ヶ岡	縄文時代晩期
13	岩版	1	出土地不詳	縄文時代晩期
14	岩偶	1	青森県三戸郡	縄文時代晩期
15	注口土器	1	出土地不詳	縄文時代後期
16	注口土器	1	岩手県九戸郡軽米町長倉	縄文時代後期
17	注口土器	1	秋田県北秋田市藤株遺跡	縄文時代晩期
18	石棒・石剣・石刀	10	愛知県田原市吉胡貝塚	縄文時代晩期
19	独鈷石	1	出土地不詳	縄文時代晩期
20	石冠	1	出土地不詳	縄文時代晩期
21	石冠	4	愛知県田原市吉胡貝塚	縄文時代晩期
22	土面	1	岩手県岩手郡雫石町鶯宿	縄文時代晩期
23	亀形土製品	1	岩手県二戸郡一戸町幕前	縄文時代晩期
24	亀形土製品	1	岩手県二戸市福岡	縄文時代晩期
25	変形饗養文銅鈴	2	中国	殷～西周
26	素文銅鈴	2	中国	戦国～漢
27	幾何学文銅鈴	8	中国	戦国～漢
28	馬鐸	2	伝朝鮮半島	初期鉄器時代
29	朝鮮式小銅鐸	1	伝朝鮮半島	初期鉄器時代
30	流水文銅鐸(重要美術品)	1	伝徳島県吉野川沿岸	弥生時代中期
31	袈裟禪文銅鐸	1	出土地不詳	弥生時代中期
32	袈裟禪文銅鐸	1	滋賀県野洲市小篠原大岩山	弥生時代後期
33	中広形銅矛	1	北九州(推定)	弥生時代中期

34	中広形銅矛	1	出土地不詳	弥生時代中期
35	中広形銅矛	1	出土地不詳	弥生時代中期
36	細形銅戈	1	福岡県春日市須玖	弥生時代前期
37	中広形銅戈	1	福岡県田川郡糸田町糸田	弥生時代中期
38	細形銅剣	1	大分県玖珠郡玖珠町	弥生時代前期
39	平形銅剣	1	福岡県福津市勝浦	弥生時代後期
40	絵画土器	3	奈良県田原本町唐古・鍵遺跡	弥生時代中期
41	記号土器	1	奈良県田原本町唐古・鍵遺跡	弥生時代後期
42	石敷遺構出土遺物		奈良県天理市布留遺跡(堂垣内)地区	古墳時代中期
43	円筒埴輪・朝顔形埴輪	2	奈良県天理市布留遺跡(アラケ)地区	古墳時代中期
44	木製祭祀具	17	奈良県天理市布留遺跡三島(里中)地区	古墳時代中～後期
45	鈴鏡	1	出土地不詳	古墳時代
46	鈴鏡	1	出土地不詳	古墳時代
47	巫女形埴輪	1	奈良県北葛城郡河合町貝吹	古墳時代中期
48	巫女形埴輪	1	出土地不詳	古墳時代後期



土偶



流水文銅鐸 (重要美術品)



巫女形埴輪